

名古屋市守山区竜泉寺に生息する陸産貝類

Terrestrial mollusks in Ryusenji, Moriyama-ku, Nagoya City,
Aichi Prefecture, Japan

横井 敦史 *

* 愛知みずほ大学人間科学部.

Yokoi Atsushi *

* Department of Human Science, Aichi Mizuho College.

キーワード：陸産貝類，守山区竜泉寺，ウメムラシタラ，絶滅危惧種

Key words : terrestrial mollusks, Ryusenji, Moriyama-ku, *Coneuplecta(Sitalina) japonica*, threatened species.

はじめに

愛知県守山区竜泉寺は、名古屋市の北東部に位置し、地形的には東部丘陵地に属するため名古屋市としては比較的自然が豊かな地域である。今回の調査地である守山区竜泉寺ウォーターパーク（閉鎖施設）付近（写真 1, 2）は、庄内川左岸河畔からつながり自然の残る雑木林がある。河畔林につながる斜面の雑木林にはガレ場が広がり、砂礫層の上には腐葉土層やリター層が豊富である。適度な湿度が保たれ、陸産貝類の棲息には好環境が残っており、名古屋市で準絶滅危惧種に選定されているヤマタニシなどの希少種が見つかった（名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課，2015）。しかし、陸産貝類相の詳細な調査は実施されておらず、2019 年 7 月 3 日に現地調査を実施したところ稀少種などが発見され、記録に残す価値があると判断されたので報告する。

調査方法

調査は目視による直接採取を中心に、必要に応じてスコップ、熊手、金属製篩等を用いてリター層ごと採取した。微小種分析のためのリターおよび腐葉土層のサンプリング地点は無作為に抽出した。その場所の表

土を 1 cm 目合の篩にかけ、通過したリターをサンプルとした。サンプルは室内でソーティングし双眼実体顕微鏡を用いて種の同定を行った。

調査結果

●ヤマタニシ 写真 3

Cyclophorus herklotsi (Martens, 1861)

殻高 15 mm 前後、殻は茶褐色で多少光沢があり、螺塔は円錐形。体層の周縁は円い。殻口は円形、口縁はやや厚く反転する。蓋は革質で多旋型。触角は 1 対でその基部に眼がある。関東地方以西日本各地、朝鮮南部、九州、屋久島まで分布する（肥後・後藤，1993）。10~20 cm サイズの礫混じりのガレ場の雑木林で 20 個体程度発見された。名古屋市では、本調査地のみで棲息が確認されており、準絶滅危惧種に選定されている（名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課，2015）。

●オカチョウジガイ 写真 4

Allopeas kyotoense (Pilsbry & Hirase, 1904)

殻は半透明、小さい塔状、殻高 10 mm 程度。北海道以南、本州、四国、九州、伊豆諸島等の日本全域に分布する（肥後・後藤，1993）。自然林の腐葉土中に

生息するほか、自然の破壊された環境にも見られることがある。人為的環境でも生息できることから、従来の分布地でない場所に持ち込まれて繁殖することがある。本調査では腐葉土層から多くの個体が発見された。

●キビガイ 写真 5

Gastrodontella stenogyra (A. Adams, 1868)

殻は薄質半透明の淡い黄褐色、殻高 1.7mm。螺層が数多く狭く巻く。奥羽、東北地方以南、九州までの日本全域、朝鮮に分布する（肥後・後藤, 1993）。本調査では腐葉土層から数個体が発見された。

●ウメムラシタラ 写真 6

Coneuplecta(Sitalina) japonica (Habe, 1964)

殻は微小、殻高約 1.3 mm。螺塔は低く、巻数の少ない低円錐形。縫合は深く、各層には段差になる。本州（関東地方、東海）、四国（徳島、高知両県）、九州、巨文島に分布する（肥後・後藤, 1993）。本調査では、斜面雑木林の林床のリター層中から数個体が見つかった。名古屋市では準絶滅危惧種に（名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課, 2015）、愛知県でも準絶滅危惧種に（愛知県環境部, レッドリストあいち 2015, <http://www.pref.aichi.jp/kankyo/sizen-ka/shizen/yasui/redlist/>, 2019 年 8 月 31 日確認）選定されている。

●ウスイロシタラ 写真 7

Parasitara pallida (Pilsbry, 1902)

マルシタラ *Parasitara reinhardti* (Pilsbry, 1900) に似るが、本種は胎殻付近に微細な布目状彫刻が見られないことで区別できる。名古屋市内各地から発見されている（川瀬, 2013）。本調査地ではリター層中から発見されたが、その多くは死殻であった。

●ウラジロベッコウ 写真 8

Urazirochlamys doenitzii (Reinhardt, 1877)

殻は小形、薄質、扁平、光沢が強い半透明。殻頂はわずかに膨れる。殻の上面は黄褐色、死殻の下面の中央は白くなる。奥羽地方以南、本州全域、四国、九州およびその属島に分布する（肥後・後藤, 1993）。本調査ではリター層から数個体の生貝と腐葉土層表面から多数の死殻が発見された。

●ニッポンマイマイ 写真 9

Satsuma japonica (Pfeiffer, 1847)

殻はやや薄質、半透明、黄褐色、円錐形。本州（東北地方、北陸地方以南、関東地方、関西地方）に分布する（肥後・後藤, 1993）。本州地域に広く分布している。カドバリニッポンマイマイ、ヌノメニッポンマ

イマイ、マルニッポンマイマイ、コニッポンマイマイなど亜種や型が多い（東, 1995）。本調査地の個体は殻の周縁が角張るカドバリニッポンマイマイ *S. j. carinata* (Pilsbry & Gulick, 1902) であったがニッポンマイマイ類には変異が多く一形態型に過ぎないと考えられるので本報告では基亜種に統一する。

草地から 1 個体のみ生貝が発見された。

●オオケマイマイ 写真 10

Aegista vulgivaga (Schmacker et Boettger, 1890)

オオベソマイマイ属ケマイマイ亜属の偏平なレンズ形の陸貝で、周縁には殻皮毛が放射状に列生している（東, 1995）。殻皮毛は幼貝や若貝では顕著に現れるが、老成貝では摩耗等により、ほとんど確認できなくなる。本州（関東・越後・佐渡以南）、中部、近畿、中国、四国地方に分布し（湊, 1988；肥後・後藤, 1993；東, 1995）、比較的自然度の高い林内や石灰岩地帯に多く棲息する。

岐阜県岐阜市の環境を、山地、山麓～平地、平地の 3 つに区分した調査では、オオケマイマイが山地に優占することが示されている（川瀬ほか, 2012）。

名古屋市では、準絶滅危惧種に選定され、中区（三の丸 1 丁目付近；護国神社～名古屋城外堀）、守山区（竜泉寺 1 丁目付近；竜泉寺ウォーターパーク跡地付近および周辺の河畔林）、瑞穂区（村上町村上神社及び周辺民家の庭など）の 3ヶ所で飛び地的に確認されている（名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課, 2015）。本調査では主に草本植物帯で比較的多くの生貝を確認することが出来た。

●ウスカワマイマイ 写真 11

Acusta despecta sieboldiana (Pfeiffer, 1850)

殻は薄くて丸い。殻口は大きく開き円形。北海道南部以南九州までの日本全国、朝鮮南部に分布する（肥後・後藤, 1993）。人々のくらしとともに移動し、分布を拡大している。比較的乾燥に強く、都市部での環境に適応できるという性質をもつ（東, 1995）。農作物害虫として野菜を食害することが知られている（野々部ほか, 1984）。本調査では施設周辺の人為的な環境から発見された。

●イセノナミマイマイ 写真 12

Euhadra eoa communisiformis Kanamaru, 1940

名古屋でカタツムリといえば本種のことで、1234 型の黄褐色のものが一般的である（野々部ほか, 1984）。愛知県、岐阜県、三重県に分布する（肥後・後藤, 1993）。本調査では極めて多くの個体を確認したが、死殻が非常に多かった。

考察

名古屋市守山区竜泉寺で発見された陸産貝類は 10 種であった。このうち、ヤマタニシ、ウメムラシタラ、ニッポンマイマイ、オオケマイマイの 4 種は名古屋市のレッドデータブックで稀少種に選定されている（名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課，2015）。また、オカチョウジガイ、ウラジロベッコウ、ウスカワマイマイ、イセノナミマイマイの 4 種は人為的な環境から発見されることもあるが、特筆すべきは、全 10 種中に外来種が全く含まれていない点である。このように外来種の侵入がなく稀少種が 4 種も含まれる種構成は、名古屋市内としては極めて陸産貝類相が豊かであると言える。この理由として、ウォーターパークが閉鎖されているため人の出入りが少なく、庄内川左岸河畔林からつながる雑木林等の自然がよく残っていることが考えられる。また、礫の多いガレ場、豊富なリター層や腐葉土層が発達していることも陸産貝類相が豊かな原因であろう。

引用文献

- 東 正雄 (1995) : 原色日本陸産貝類図鑑 増補改訂版, 1-343, 保育社.
- 肥後俊一・後藤芳央 (1993) : 日本及び周辺地域産軟体動物総目録, 1-693, エル貝類出版局.
- 川瀬基弘 (2013) : なごやで探そう! カタツムリ, なごや生きもの一斉調査・2012 陸貝編 報告書, 1-29, 名古屋生物多様性保全活動協議会.
- 川瀬基弘・村瀬文好・早瀬善正・市原俊・吉村卓也・山内貴司・横山貴則 (2012) : 岐阜市に生息する陸産貝類, 瀬木学園紀要, 6, 19-36.
- 湊 宏 (1988) : 日本陸産貝類総目録, 1-294, 日本陸産貝類総目録刊行会.
- 名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課 (2015) : 名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物レッドデータブックなごや 2015-動物編, 1-504, 名古屋市.
- 野々部良一・高桑 弘・原田一夫 (1984) : 陸産貝類. 佐藤 正孝・安藤 尚 (編), 愛知の動物, 23-40. 愛知県郷土資料刊行会.



写真 1. 調査地の風景
守山区竜泉寺 1 丁目付近



写真 2. 調査地の環境
守山区竜泉寺 1 丁目の雑木林の斜面



写真 3. ヤマトニシ
Cyclophorus herklotsi Martens, 1861



写真 4. オカチョウジガイ
Allopeas kyotoense (Pilsbry & Hirase, 1904)



写真 5. キビガイ
Gastrodontella stenogyra (A. Adams, 1868)



写真 6. ウメムラシタラ
Coneuplecta(*Sitalina*) *japonica* Habe, 1964

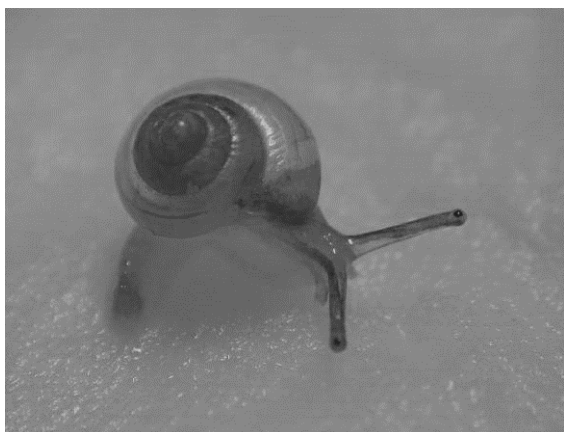


写真 7. ウスイロシタラ
Parasitala pallida (Pilsbry, 1902)



写真 8. ウラジロベッコウ
Urazirochlamys doenitzii (Reinhardt, 1877)



写真 9. ニッポンマイマイ
Satsuma japonica (Pfeiffer, 1847)

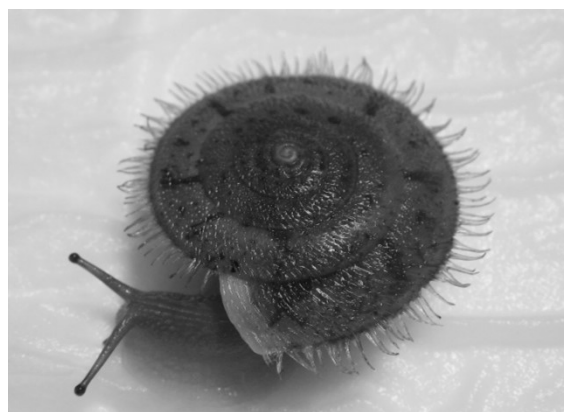


写真 10. オオケマイマイ
Aegista vulgivaga (Schmacker & Boettger, 1890)



写真 11. ウスカワマイマイ
Acusta despecta sieboldtiana (Pfeiffer, 1850)



写真 12. イセノナミマイマイ
Euhadra eoa communisiformis Kanamaru, 1940